

科目名 病態と診療Ⅱ（Ⅰ） 循環器	授業担当者 五十嵐 知規	所属 中通総合病院 医局	
開講時期 : 中期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(循環器 10 時間)	
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護師が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 本分野は、全身のまさに循環を対象とするものであり、その知識はどのような疾患、患者を対象にするにしても必須のものである。看護における循環管理の重要性を認識し、その知識を確固たるものとしていただきたく、本授業を行う。			
受講上の注意・事前学習の内容 テキストに沿って授業を行う。ただし、テキストに載っていないが、病態などの理解のうえで重要な事項についての講義を重点的に行うので、テキストの内容の予習、復習は各自でも十分に行っていただきたい。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	先天性心疾患 心臓弁膜症	講義	
2	動脈系疾患、静脈系疾患 虚血性心疾患	講義	
3	血圧異常 心筋疾患	講義	
4	心不全 心臓カテーテル検査、カテーテル治療	講義	
5	不整脈 その他	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 循環器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療Ⅱ 150 点満点中の 50 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 病態と診療Ⅱ（2） 呼吸器	授業担当者 三船 大樹	所属 中通総合病院 医局	
開講時期 : 中期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(呼吸器 10 時間)	
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 「息を吹き返す」「息を引き取る」などの表現からも理解されるように、呼吸は生命活動の根源です。呼吸器疾患は生命の危機に直結しやすく、かつその症状は、息切れや咳、胸痛、血痰など、日常生活に大きな影響を引き起こします。看護者が果たす役割を身につけるため、呼吸器の構造と生理、代表的な呼吸器疾患の基本的な知識を習得してください。			
受講上の注意・事前学習の内容 教科書等をあらかじめ見て、学習する内容に関してイメージできていることが望ましい。テキストに準じた資料を配布します。この資料をもとに試験を作成しますので、試験前の復習に利用してください。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	第 1 章 呼吸器の看護を学ぶにあたって 第 2 章 呼吸器の構造と機能	講義	
2	第 2 章 呼吸器の構造と機能	講義	
3	第 3 章 症状とその病態生理 第 4 章 検査と治療・処置	講義	
4	第 5 章 疾患の理解	講義	
5	第 5 章 疾患の理解	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 呼吸器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療Ⅱ 150 点満点中の 50 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 病態と診療Ⅱ（3） 腎・泌尿器	授業担当者 秋濱 晋	所属 中通総合病院 医局	
開講時期 : 中期～後期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(腎・泌尿器 10 時間)	
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の概要 主要な腎疾患、泌尿器科疾患の病態生理が理解できるように授業を進める。			
受講上の注意・事前学習の内容 テキストに沿って授業を行うので、予備知識としてあらかじめ目を通しておいて欲しい。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	腎疾患を学ぶための基礎知識 泌尿器疾患を学ぶための基礎知識	講義	
2	腎臓内科で行われる検査と看護 泌尿器科で行われる検査・治療・処置と看護	講義	
3	腎臓の疾患と看護	講義	
4	透析療法と腎移植	講義	
5	泌尿器科の疾患と看護	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 腎・泌尿器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験(選択式、記述式の両方を予定) 病態と診療Ⅱ 150 点満点中の 50 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります